

県北地域の復興の現状について

復旧・復興県北地方本部

○復興に向けた主な取組

環境回復プロジェクト

○除染の推進 (H24. 10 月末現在、H24 年度計画分)

	H24 計画	発注率	実績率
公共施設	1,328 施設	89.8%	60.8%
住宅	41,011 戸	69.5%	8.0%
道路	2,579km	55.8%	2.8%
農用地	18,226ha	81.1%	61.1%

○県北浄化センターの下水汚泥保管状況 (H24. 12. 17 現在)

- ・ 22,298t (汚泥発生量 40~50 t / 日)

農林水産業再生プロジェクト

○米の全量全袋検査の進捗状況 (H24. 12. 17 現在)

- ・ 進捗率 92.6% (100Bq/kg 超 65 袋)

○モモの販売状況 (東京都下卸売市場 H24. 7~11 月)

- ・ 販売単価：平年比 85%

県民の心身の健康を守るプロジェクト

○被災者への健康支援活動 (H24. 11. 30 現在)

- ・ リハビリ等 (1,651 回)、心のケア (808 回)

○県民の健康に関する知識の普及啓発

- ・ 放射線に関する出前講座 (実績 43 回)

県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

○復興を支援する道路整備の進捗状況

- ・ 東北中央自動車道 (霊山福島間 H25 事業化要望中)
- ・ 国道 114 号 (小綱木 BP トンネル部 H24 年度供用予定)
- ・ 県道原町川俣線 (水境工区 H25 年度供用予定)

避難の状況

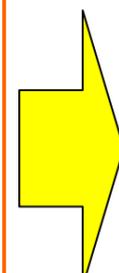
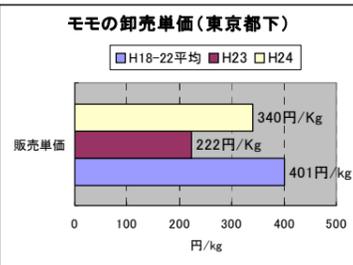
○計画的避難区域 (川俣町山木屋地区 529 世帯 1,233 人)

○旧特定避難勧奨地点 (H24. 12. 14 解除)

(伊達市 117 地点 128 世帯のうち 94 世帯 333 人が避難) (H24. 9. 30 現在)

○管内への避難状況 (管内より 1,918 人 管外より 16,509 人) (H24. 12. 13 現在)

○自主的避難者の避難状況 (県外へ約 9,600 人)



○復興に向けた主な課題

長期的避難の継続と避難者等への支援

- ・ 計画的避難区域 (川俣町山木屋地区)、旧特定避難勧奨地点 (伊達市の一部) における避難が継続。
- ・ 復興公営住宅の整備、早期賠償の実現等の生活基盤の早急な整備。
- ・ 放射線に対する恐れから子どもを持つ若い世代を中心に県内外に避難。

除染の推進

- ・ 仮置場の確保。地域・地区を越えた搬入。
- ・ 入札の不調や作業員不足による作業の遅れ。

農産物の安全・安心の確保

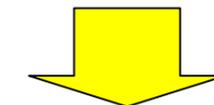
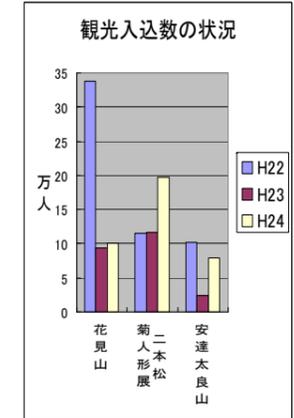
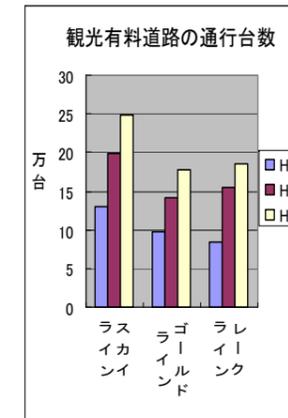
- ・ 米の全量全袋検査は 11 月末にほぼ終了。市町村や農家の負担が大きい。
- ・ あんぽ柿が 2 年連続で加工出荷自粛。

風評払拭による観光の復興

- ・ 地域経済を支える観光業の復興。

復興を支える交通網の整備促進

- ・ 復興を支援する道路や東西連携道路など、災害に強い道路ネットワークの構築が急務。
- ・ 浜通りの南北軸の交通網の寸断により迂回路となる道路の交通量が増加。



○課題解決に向けた取組の方向

長期避難者が将来の展望を描けるようになるための環境整備

- ・ 生活拠点 (復興公営住宅) や生活基盤 (保健・医療・福祉、教育など) の整備促進。
- ・ 避難者受入自治体との調整、支援。

誰もが安心して暮らせるようになるための取組

- ・ 除染を推進するための条件整備。(仮置場設置を促す安全・安心確保のための取組の促進。現場の状況に即した柔軟な対応。除染財源の早期支払い。作業員の確保。)

農産物の安全・安心の確保

- ・ 農産物の徹底したモニタリング調査による安全・安心確保の取組。
- ・ 放射性物質の移行メカニズムの解明、除染や検査技術の研究・開発の推進。

風評の払拭

- ・ ふくしまの現状・取組みを正確に伝える情報の戦略的発信。
- ・ 風評を払拭するための取組みの推進。「こでらんに博」などの各種イベントへの積極的な支援。

復興を支える交通網の整備促進

- ・ 復興支援道路 (東北中央自動車道) の整備促進、東西連携道路 (国道 114 号・115 号・459 号、県道原町川俣線) 及び浜通りの南北軸交通網の迂回路 (国道 349 号・399 号) の早期整備。

復興財源の確保

- ・ 復興交付金対象事業の拡大や長期的な復興に係る財源確保。